



電灯の取り扱い注意事項

2/2


※以下の事項を必ずお守りください。守らないで破損や事故を招いたり、けがを負った場合、当社は一切の責任を負いかねます。

警告

- 電灯やシェードを紙や布でおおったり、燃えやすいものを近づけないでください。火災の原因となります。
- 適合した型の指定されたワット数の電球を必ず使用してください。短寿命、破損によるけが、あるいは器具の過熱の原因となります。
- 電球交換や器具清掃のときは、必ず電源を切って行ってください。電源を切らないと感電の原因となります。
- ハロゲン球はガラス内部の圧力が高いため落したり、物をぶついたり、無理な力を加えたり、傷をつけたりしないでください。(特に器具の清掃のときはご注意ください。)破損した場合、ガラス破片が飛散しけがの原因となります。[ハロゲン球使用の照明器具]

注意

- 電球の口金やソケットの受金には手を触れないでください。感電のおそれがあります。
- 電球はソケットに確実に取り付けてください。落下し破損してけがの原因となることがあります。
- 灯具に水をかけたり、ぬれたもので触れたりしないでください。感電や火災の原因となることがあります。
- 点灯中や消灯直後は電球が熱いので絶対に手や肌を触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。
- 放熱用の穴をふさいだり、照射面をふさいでしまう物を置いたりしないでください。変色や焼損・火災の原因となることがあります。
- 塗料などを塗らないでください。電球が過熱し破損の原因となることがあります。
- 灯具に洗剤や殺虫剤をかけないでください。発煙や火災の原因となることがあります。
- 温度や湿度の高いところでは使用しないでください。破損や過熱の原因となることがあります。
- 灯具をはずして使用したり、分解したり、改造したりしないでください。感電や発火・火災の原因となることがあります。
- 表示された電圧で使用してください。高い電圧で使用すると、短寿命や過熱、まれに破損の原因になることがあります。
- 振動・衝撃を与えないでください。短寿命や破損の原因となることがあります。
- 引火する危険性の雰囲気(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・粉塵など)で使用しないでください。火災や爆発の原因となることがあります。
- 酸など腐食性雰囲気のところでは使用しないでください。漏電や落下の原因となることがあります。
- 点灯中の電球を間近で長時間見つめないでください。目が痛くなったり、視力障害の原因となることがあります。
- 電球(特にハロゲン球)を取り外すときは、口金の種類(ねじ込み、差し込み)に注意してください。破損の原因となることがあります。
- 使用済の電球は割らずに廃棄してください。電球を割るとガラス破片が飛散し、けがの原因となることがあります。
- 乳幼児が触れたり、手の届くところに放置しないでください。感電や火災のおそれがあります。

※電源プラグやコード部については、1/2ページの  **コンセントの取り扱い注意事項** をご確認ください。